

第62期

# 中間ビジネスレポート

平成26年4月1日から平成26年9月30日まで



## トップメッセージ

DAiKOは、次なる成長を目指し、  
筋肉質な会社に生まれ変わります



株主の皆さまにおかれましては、ますますご清  
祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げ  
ます。

平成27年3月期上半期の国内経済は、消費税増  
税の駆け込み需要の反動による影響もありました  
が、企業収益の改善などにより緩やかな回復が続  
きました。

こうした環境のなか、当社は、売上につきまし  
ては前年同期を上回ることができましたが、利益  
面では調達システムの販売形態転換に伴う事業整  
理損などの影響により四半期純損失を計上するこ  
ととなりました。

当社の最優先事項は、この状況から一早く抜け  
出し、利益ある持続的成長に向けて再発進するた  
めに、筋肉質の会社に生まれ変わることです。そ  
れには景気変動や市況変化に影響されない安定し  
た収益基盤を確立する必要があります。私たちは、  
事業構造改革計画を策定し、お客さまから高い評  
価をいただいている民間企業向けSIおよびNIの中  
核事業の収益力強化に加え、医療、セキュリティ、  
インフラなど、今後の成長事業に積極的に取組む  
ことで、それを実現してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、ご理解とご支  
援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長

津玉 高秀

### 連結経営成績

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動による影響が見られるものの、政府の財政・金融政策を背景に企業収益や雇用環境の改善が進み、緩やかな回復基調が続きました。

当情報サービス業界におきましては、大企業を中心に設備投資意欲は改善しており、当社の主要顧客層である中堅企業においても緩やかな回復基調にあります。ICT投資については高品質、低価格への要請が一層強まっております。

こうした環境のなか、当社グループは「お客さま第一」の方針のもと、「品質向上」への取組み継続により、顧

売上高 **152億8**百万円 前年同期比102.3%

客満足度の高いサービスの提供に努めてまいりました。

具体的な施策としては、主要なビジネスパートナーである富士通株式会社及び同社グループとの連携強化による中堅民需向けビジネスの拡大に努めるとともに、顧客接点を増やす活動の強化により収益向上への取組みを推進してまいりました。さらに、今後の成長基盤となる自社開発ソリューションの機能強化、品質向上、チャンネルビジネス拡大及びクラウドサービス提供などに継続的に取組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高154億10百万円（前年同期比94.0%）、売上高152億8百万円（前年同期比102.3%）となりました。

### 情報通信機器部門

情報通信機器部門では、富士通株式会社、株式会社富士通マーケティングとの連携強化に加え、OSのサポート終了に伴うPC、サーバーの入れ替え需要が一部

売上高 **58億77**百万円 前年同期比107.6%

継続したことにより受注高56億37百万円（前年同期比114.3%）、売上高58億77百万円（前年同期比107.6%）となりました。

### ソリューションサービス部門

ソリューションサービス部門は、受注高97億72百万円（前年同期比85.3%）、売上高93億30百万円（前年同期比99.2%）となりました。同部門の内訳としては、ソフトウェアサービスでは、受注高61億51百万円（前年同期比91.4%）、売上高56億16百万円（前年同期比102.9%）と比較的堅調でありましたが、保守サービスでは、ハードウェアの低価格化に伴う保守

売上高 **93億30**百万円 前年同期比99.2%

料低下の影響を受け、受注高20億55百万円（前年同期比80.6%）、売上高23億36百万円（前年同期比98.6%）に、ネットワーク工事では、前年の大型商談が一部縮小した影響により、受注高15億66百万円（前年同期比72.0%）、売上高13億78百万円（前年同期比87.2%）となりました。

# 連結決算概要

## ■ 四半期連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結会計期間	前連結会計年度
	平成26年9月30日現在	平成26年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	13,838	17,089
固定資産	4,431	4,283
有形固定資産	1,373	1,396
無形固定資産	211	211
投資その他の資産	2,845	2,675
繰延資産	2	3
資産合計	18,272	21,376
<b>負債の部</b>		
流動負債	9,800	11,414
固定負債	6,571	6,670
負債合計	16,372	18,084
<b>純資産の部</b>		
株主資本	1,357	2,875
資本金	3,654	3,654
資本剰余金	272	272
利益剰余金	△2,537	△1,019
自己株式	△32	△31
その他の包括利益累計額	433	310
その他有価証券評価差額金	646	553
退職給付に係る調整累計額	△212	△242
少数株主持分	108	106
純資産合計	1,899	3,292
負債純資産合計	18,272	21,376

## ■ 四半期連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

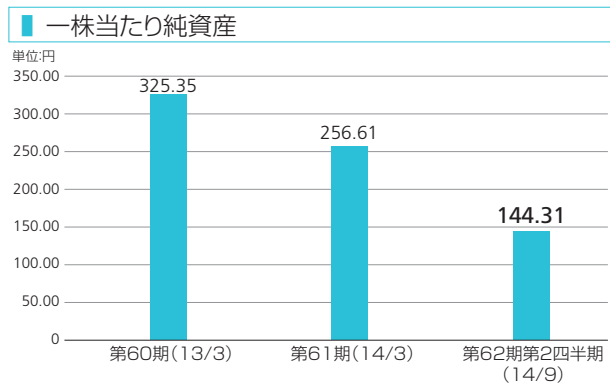
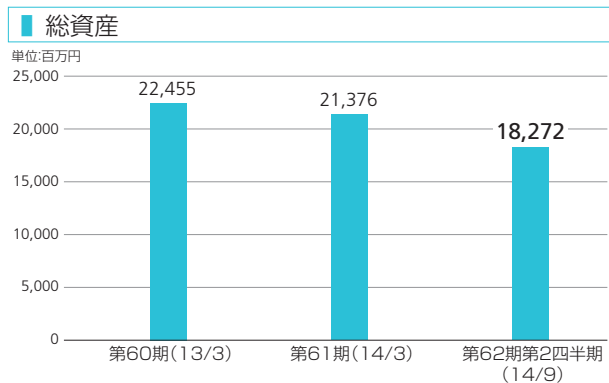
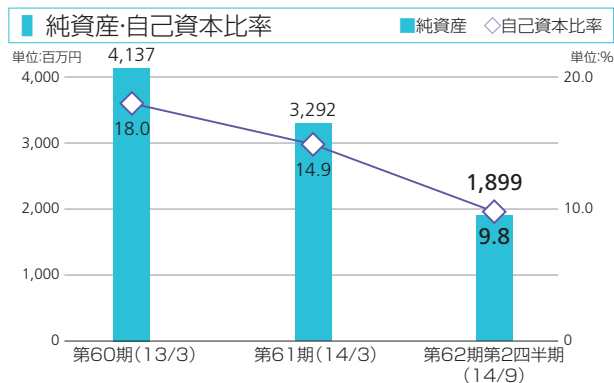
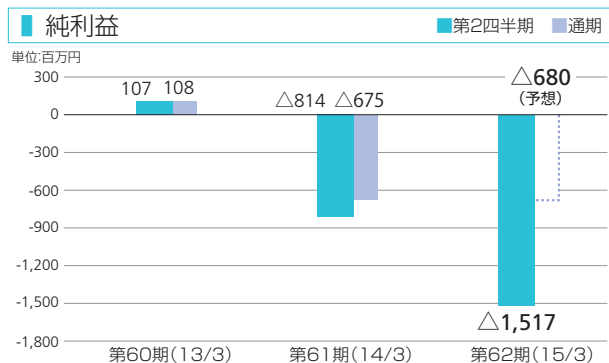
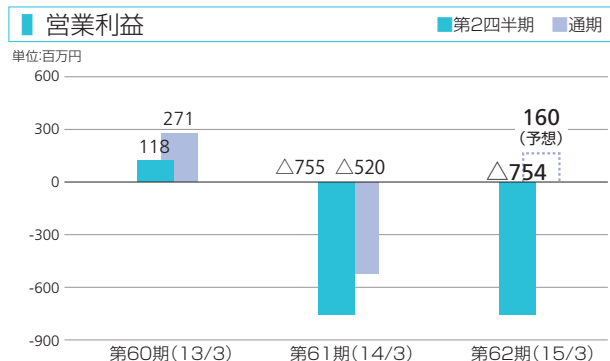
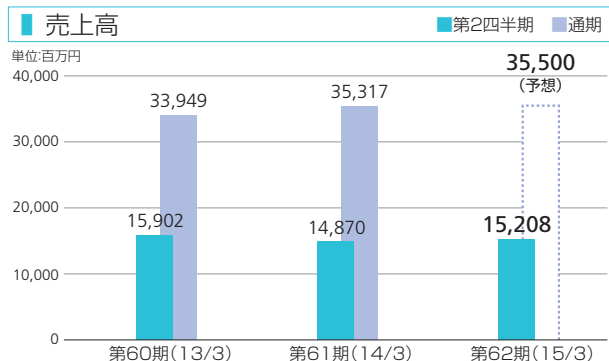
科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
売上高	15,208	14,870
売上原価	13,029	12,568
売上総利益	2,178	2,302
販売費及び一般管理費	2,932	3,057
営業損失(△)	△754	△755
営業外収益	63	47
営業外費用	59	54
経常損失(△)	△750	△762
特別損失	736	37
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,486	△800
法人税、住民税及び事業税	20	13
法人税等調整額	6	—
法人税等合計	27	13
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,514	△813
少数株主利益	3	0
四半期純損失(△)	△1,517	△814

## ■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

科 目	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間
	自 平成26年4月 1日 至 平成26年9月30日	自 平成25年4月 1日 至 平成25年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	629	△929
投資活動によるキャッシュ・フロー	△105	△50
財務活動によるキャッシュ・フロー	247	△371
現金及び現金同等物の増減額	771	△1,351
現金及び現金同等物の期首残高	1,847	2,742
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,619	1,390

# 財務ハイライト（連結）



## 「PROCURESUITE」クラウドサービス提供開始！（11月1日）

製造業のお客さまを中心に導入いただいております間接資材調達支援ソフトウェア「PROCURESUITE」のクラウドサービスを2014年11月1日より開始いたしました。クラウドサービスでは、これまでのパッケージソフトの機能を細分化し、必要な機能を選んで使用することができ、さらに同資材を扱う電子商取引（EC）サイトと連携し、サイトで注文するだけで、購買部門への情報伝達を完了させることができます。

### PROCURE SUITE

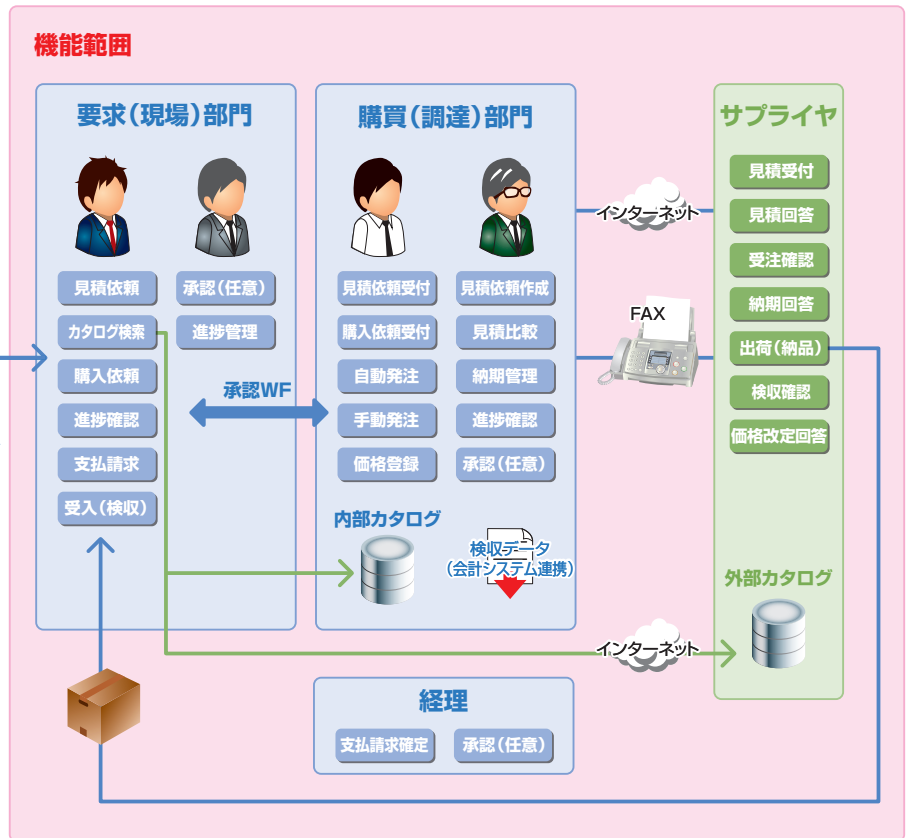
PROCURESUITEは、間接資材の要求部門、購買部門、サプライヤ間をインターネットでつなぎ、購買情報の「一元化」・「見える化」を実現します。さらに「事務工数の大幅な削減」と「間接材の購買価格の最適化」が実現可能となります。



凡例

仕入企業(サプライヤ)

導入企業(バイヤ)



## 会社概要 (平成26年9月30日現在)

商号 大興電子通信株式会社  
 証券コード 8023 (東証第二部)  
 設立 1953年12月1日  
 所在地 東京都新宿区揚場町2番1号  
 電話 03(3266)8111(代表)  
 資本金 36億5,425万7,108円  
 従業員数 788名

### 企業集団の状況 ● 連結子会社 ● 持分法適用関連会社

#### ● 大興ビジネス(株)

資本金：2千万円  
 当社出資比率：77.5%  
 事業内容：労働者派遣業、有料職業紹介業、ソフトウェアの運用管理  
 東京都新宿区神楽坂1丁目1番1号

#### ● (株)サイバーコム

資本金：1千万円  
 当社出資比率：96.5%  
 事業内容：ソフトウェアの開発・販売(病院情報システム)  
 東京都文京区関口1丁目44番4号

#### ● 大興テクノサービス(株)

資本金：2千万円  
 当社出資比率：55.6%  
 事業内容：建物附帯諸設備の保守管理、電子計算機の保守  
 東京都台東区上野3丁目3番4号

#### ● (株)大和ソフトウェアリサーチ

資本金：4億4百50万円  
 当社出資比率：49.7%  
 事業内容：ソフトウェアに係るコンサルティング、開発および運用管理  
 東京都千代田区平河町1丁目2番10号

### 役員

取締役	代表取締役社長CEO兼COO	津玉 高秀
	取締役 常務執行役員	三木 格
	取締役 上席執行役員	岡田 憲児
	取締役 上席執行役員	山寺 光
	取締役(社外)	小野 弘之
	取締役(社外)	原口 直道
執行役員	上席執行役員CCO	福村 圭一
	上席執行役員	小松 俊一
	上席執行役員	深野 澄雄
	執行役員	松山 晃一郎
	執行役員	須崎 雅彦
	執行役員	坪井 金洋
	執行役員	本多 浩明
	執行役員	寺田 元一
	執行役員	内田 秀二
	執行役員	園田 信裕
監査役	常勤監査役	酒井 厚平
	監査役(社外)	佐田 憲治
	監査役(社外)	藤松 文

## 株式情報 (平成26年9月30日現在)

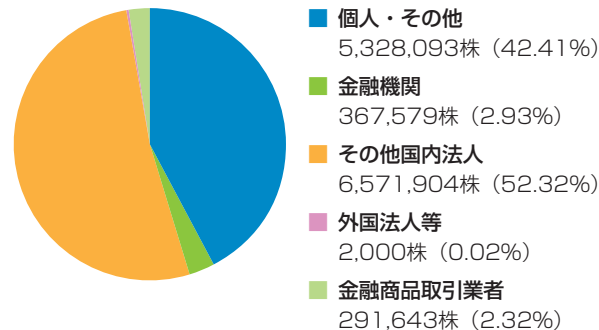
### 株式の状況

● 発行可能株式総数	47,900,000株
● 発行済株式の総数	12,561,219株
● 株主数	1,429名

### 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
富士通株式会社	1,866,827	14.86
株式会社オービック	1,500,000	11.94
株式会社大和証券グループ本社	1,277,102	10.17
大興電子通信従業員持株会	1,259,662	10.03
株式会社ドッドウエルビー・エム・エス	753,000	5.99

### 株式数別分布状況



# 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
決算期	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 Tel. 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。但し、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

## 【ご注意】

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

IR情報は  
こちら  
をご覧ください。

(当社ホームページ)



(当社IRページ)

当社ホームページもご覧ください。  
<http://www.daikodenshi.jp/>  
当社ではIR専用ページを設けております。